

平成27年 第4回  
教育委員会定例会会議録

平成27年4月14日（火）  
港区教育委員会

港区教育委員会会議録

第2420号

平成27年第4回定例会

日時 平成27年4月14日（火） 午前10時00分開会

場所 教育委員会室

「出席委員」

委 員 長	澤 孝一郎
委員長職務代理者	小 島 洋 祐
委 員	綱 川 智 久
委 員	永 山 幸 江
教 育 長	小 池 眞喜夫

「説明のため出席した事務局職員」

次 長	益 口 清 美
庶 務 課 長	佐 藤 雅 志
教育政策担当課長	橋 本 誠
学 務 課 長	新 井 樹 夫
学校施設担当課長	奥 津 英一郎
生涯学習推進課長	山 田 吉 和
図書・文化財課長	前 田 憲 一
指 導 室 長	渡 辺 裕 之

「書記」

庶務課庶務係長	小野口 敬 一
庶務課庶務係	鈴 木 玲 奈

「議題等」

日程第1 会議録の承認

- 1 第2414号 第1回臨時会（平成27年1月27日開催）
- 2 第2415号 第2回定例会（平成27年2月10日開催）

日程第2 教育長報告事項

- 1 平成27年度学級編制等について
- 2 港区青少年委員の退任及び委嘱について
- 3 港区スポーツ推進委員の委嘱について
- 4 教職員の人事異動について
- 5 後援名義等の3月分使用承認について
- 6 生涯学習推進課の3月事業実績について

- 7 生涯学習推進課の各事業別利用状況について
- 8 図書館・郷土資料館の3月行事实績について
- 9 図書館の3月分利用実績について

「開 会」

○澤委員長 ただいまから、平成27年第4回港区教育委員会定例会を開会いたします。

(午前10時00分)

先週は、4月6日の小学校の入学式に始まり、皆様には、入園式・入学式にご出席ありがとうございました。私の家の近くでも、黄色い帽子をかぶった1年生が目につきますが、指導室長、新学期は順調にスタートしたのでしょうか。

○指導室長 各幼稚園、小・中学校では、何事もなく順調にスタートしたと聞いております。

○澤委員長 新年度も、区民の皆さんや子どもたちにとってよりよい活動ができますよう、私も微力ながら一生懸命やらさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

「会議録署名委員」

○澤委員長 それでは、日程に入ります。

本日の署名委員は、綱川委員にお願いします。

## 第1 会議録の承認

1 第2414号 第1回臨時会（平成27年1月27日開催）

2 第2415号 第2回定例会（平成27年2月10日開催）

○澤委員長 日程第1、会議録の承認に入ります。

平成27年1月27日開催の第2414号第1回臨時会の会議録、平成27年2月10日開催の第2415号第2回定例会の会議録につきましては、承認ということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○澤委員長 それでは、承認することに決定いたしました。

## 第2 教育長報告事項

1 平成27年度学級編制等について

○澤委員長 次に、日程第2、教育長報告事項に入ります。

「平成27年度学級編制等について」学務課長、説明をお願いします。

○学務課長 それでは、「平成27年度学級編制等について」ご報告させていただきます。

資料ナンバー1の1ページ、学級数及び在籍者数（総括表）をご覧ください。これは前年度との比較です。一番右の増減の部分をご覧くださいますと、幼稚園では5学級の増で園児数は41名の増、小学校では7学級の増で児童数は380名の増、中学校では2学級の減で生徒数55名の減で、全体としては10学級の増で在籍者数は366名の増となっております。

2ページからは、それぞれの内訳となっております。平成26年度と平成27年度を上下に並べておりますので、前年度との比較を中心にご説明させていただきます。

2 ページは幼稚園です。幼稚園ごとに3歳児・4歳児・5歳児の学級数と定員、在籍数を記載しております。上段が平成27年度、下段が平成26年度の数字です。

一番下の網かけの部分をご覧ください。

初めに、3歳児です。平成27年度は定員を54名増の294名といたしました。学級数は3学級の増で在籍数は45名の増、充足率は96%です。残念ながら充足率は100%ではございませんでした。

次に、4歳児です。平成27年度は定員を50名増の550名といたしました。学級数は1学級の増で在籍数は7名の増、充足率は69%です。

最後に、5歳児です。平成27年度は定員を30名増の520名といたしました。学級数は1学級の増で在籍数は17名の減、充足率は72%です。なお、5歳児は最初、2学級の増、定員60名増で募集いたしました。応募が少なかったため、1学級の増、定員30名の増といたしました。全体的な充足率は、前年度と比べて81%から76%と5%下回っております。

今年度の幼稚園の全体の傾向としましては、3歳児の定員を54名増やしたことで、課題となっていた3歳児の待機者数が4月9日現在で63名、前年度4月24日時点の116名から53名の減となりました。

なお、今年度の4歳児50名、5歳児30名の定員増につきましては、結局、直接的な在籍者数の増加にはつながりませんでしたが、目的としては4・5歳児の待機児童を発生させないため定員に余裕を持たせたということが第一です。さらに、来年度以降は、3歳児がそのまま繰り上がっていきますので、待機児童解消に対応するための増加とご理解いただきたいと思います。

3 ページは小学校です。1年生は1学級35人編制としていますが、前年度と比べて学級数が増えた学校はございません。心配した芝浦小学校と港南小学校についても、学級数の増はございませんでした。これは今年度の特徴です。

なお、学校選択希望制で抽選となった学校は、御成門、芝、御田、本村、東町小学校の5校です。最終的には26名が繰り上がっています。また、東町小学校の国際学級は、外国籍の入学者は今年度6名で、残念ながら外国籍で入学できなかった児童は2名です。

2年生は、前年度と同様に、東京都の学級編制基準どおり35人となっております。前年度と比べて芝浦小学校で1学級の減です。これは40人学級を選択した結果で、教室の不足等を考慮してではなく、加配して教員を充実させたいという学校長の判断から40人学級としております。

白金の丘、麻布、筈、青山小学校でそれぞれ1学級の増、全体では、3学級の増、児童数は106名の増となっております。

3年生以降は、1学級40人で編制しております。3年生は、芝浦、港南小学校がそれぞれ1学級の増、全体では2学級の増、児童数は160名の増です。

4年生は、芝浦、高輪台、白金、港南、東町小学校でそれぞれ1学級の増、全体では5学級の増、児童数は24名の増です。

5年生は、白金の丘小学校で1学級の増、高輪台、白金小学校でそれぞれ1学級の減、全体では

1 学級の減、児童数は 7 名の減です。

6 年生は、高輪台、港南小学校でそれぞれ 1 学級の増、全体では 2 学級の増、児童数は 8 7 名の増です。

4 ページは日本語学級です。筈小学校の日本語学級の通級の児童数を記載しております。昨年と比べて学級数は 2 学級と変化はなく、児童数は 2 名の減です。

今年度の小学校の傾向としましては、児童の増加数は全体として、ほぼ予測の範囲内でした。ただ、白金の丘小学校は、新設校人気ということで児童数が 7 1 名の増となっておりますが、これも予測の範囲内でした。南山小学校と本村小学校の児童数が減となった理由の詳細は不明ですが、白金の丘小学校の児童数が増えていますので、これまで南山小学校や本村小学校を選んでいたグループが白金の丘小学校を選んだ結果ではないかと考えております。

5 ページは中学校です。1 年生は、昨年と同様、東京都の学級編制基準どおり 3 5 人となっております。前年度と比べて、白金の丘中学校で 1 学級の増、御成門、港南中学校でそれぞれ 1 学級の減、全体では 1 学級の減、生徒数は 2 4 名の減です。

なお、学校選択希望制で抽選となった学校は、昨年度と同様に三田、高松中学校の 2 校で、最終的には 8 3 名が繰り上がっています。

2 年生以降は、1 学級 4 0 人で編制しております。2 年生は、御成門中学校で 1 学級の増、港南、赤坂中学校でそれぞれ 1 学級の減、全体では 1 学級の減、生徒数は 1 名の減です。

3 年生は、赤坂中学校で 1 学級の増、高陵中学校で 1 学級の減、全体では学級数の増減はなく、生徒数は 2 5 名の減です。

今年度の中学校の傾向としましては、生徒の増加数は全体として、やはり予測の範囲内ということでしたが、生徒数 5 0 名減というのは、やや予想外というところでした。

6 ページは、小学校、中学校の特別支援学級です。小学校の固定学級の小計は、2 学級の増で、児童数は 1 2 名の増です。通級学級は、学級数の増減はなく、児童数は 1 4 名の増です。合計としては、2 学級の増で、児童数は 2 6 名の増となっています。

中学校の固定学級全体では学級数の増減はなく、生徒数は 2 名の減となっています。

簡単ですが、説明は以上のとおりです。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、ご質問ございますか。

○綱川委員 今回の説明を受けてよくわかりましたが、新 1 年生の抽選校が何校かあって、例えば、御成門小学校は 3 5 人学級・7 0 名定員で、5 4 名が抽選で全員入っているということですか。というのは、これを見たときに、自分の子どもが抽選で漏れたとした場合に「定員未満だからもつととれたのではないの」と言われてしまうと、どう説明したらいいのかと思います。いかがですか。

○学務課長 御成門小学校は全員入っております。残念ながら抽選漏れとなったのは、芝小学校と東町小学校です。

○綱川委員 例えば、入学を予定していて入学式に来なかった方が増えてしまったなど自己的な要因があるとすると、その学校へ行きたいと思っていた子にとってはかわいそうなことだと思います

し、説明を求められたときに、どう答えたらいいかというのがあります。

抽選校で全部充足している場合は分かるようにしておくほうがいいと思います。

○澤委員長 これはホームページで見られるのですね。何か補足説明があったほうが親切なので、その辺を検討していただきたいです。

○小島委員 今回、やはり一番のインパクトは、白金の丘小学校・中学校ですね。小学校で71名、中学校で57名の生徒数の増加というのは、非常に驚異的な数字だと思いますが、もともとは潜在的にそれだけ子どもがいる地区だったのですね。いろいろな事情から、ほかの小・中学校に行ったり、私立にも結構行っていたから、今回こういう結果が出て、非常によかったと思っています。

○澤委員長 ほかに何かございますか。

○小島委員 幼稚園の件では、ここ何年間かの努力で3年保育も拡大し、4・5歳児の定員の増加もしたことで、保護者の方の要望に応えられてきていると思っております。

今までも学務課には大変努力していただいたと思いますが、3歳児の待機児童がまだ63名います。昨年の116名と比べて半減したことは大変よかったですと思いますので、さらに来年に向けて3歳児の待機児童を極力減らすよう、特段のご配慮をお願いします。

4歳児・5歳児については、余裕ができていて、来年以降も大丈夫そうだとということですので安心しています。

○澤委員長 確かに幼稚園に関しては、10年以上前は全園児が500名程度でしたが、1,000名を超えました。小島委員が言われるように、港区の幼児教育は外から見ても名実ともに充実してきていると思います。

○小島委員 在籍者が増えたおかげで新採の先生も増えて、幼稚園へ行っても明るく元気よく、大変活発になっていいですね。

○澤委員長 残念なのは、中学校生徒の絶対数が減っていることです。景気が上向いて、私立へ入学する割合が増えているのでやむを得ないのかもしれませんが、しかし、港区の教育委員会としては、中学校の質の向上に努めてきて、学校の先生方にも一生懸命やっています。絶対数が少しでも増えると、学校の先生方にもさらにやりがいを持っていただけたらと思います。

○綱川委員 中学校は私学へ行ったというよりは、昨年の6年生がすごく少なかった。昨年の6年生は1,046名で、今年は1,133名いますから、その分が減ってしまっている。来年1,133名の子が上がってくれば少しよくなると思います。

もう一点は、幼稚園です。今年も入園式に行かせていただきましたが、一家6名で来ている状況もあります。3年保育をするようになった幼稚園は、保育室は足りていて、充足しているとは思いますが、小学校では「多目的室」と言いますが、その講堂みたいな部屋は確保できなくて、部屋がすごく狭く感じられます。例えば、小学校の併設園だと小学校の体育館を借りることができますが、施設的な面での手当ても考えていかななくてはいけない時期が来ていると思います。

○小島委員 東町小学校の国際学級に外国籍のお子さんが6名入学し、2名が入学できなかったというお話ですが、東町小学校に国際学級をつくった本来の趣旨からすると、なるべく多くの外国籍

の方においでいただいて、日本国籍の子どもたちも啓発されて国際化が進みます。なるべく多くの外国籍の子どもに入ってもらいたいですが、残念ながら2名が入学できなかったのは何とかならなかったのでしょうか。

○学務課長 おっしゃるとおりでございます。昨年度までは、隣接した学区の外国籍の方と隣接した学区の日本国籍の方と同じ考え方で抽選をしていましたが、今年度は、外国籍の方を優先し、6人入ることになりました。昨年度のルールであれば多分4人ぐらいしか入らなかった可能性があるので、その部分で言いますと2名増えているという状況です。隣接した学区外の外国籍の方を入れるとなると、日本国籍の方がその分入れないこととなりますので、その辺のバランスを考えながら、今年度ある程度改善をしたところです。

○小島委員 確かに学務課に頑張ってもらっているのは重々承知しています。なぜ毎年聞くかという、東町小学校の児童がどんどん少なくなった時期があつて、国際学級を一生懸命やることでここまで盛り返してきた経緯があります。その原動力となった国際学級の趣旨からすると、港区内のどこからでも入れてもよいと私は思っています。国際学級は港区で今1つしかないわけですから、その辺の規則改正の可能性はいかがでしょうか。

○学務課長 国際学級の制度趣旨からすれば、本当におっしゃるとおりでございます。ただ、日本国籍の方で入りたい方もたくさんいらっしゃいますし、キャパシティが限られておりますので、その辺のバランスについて、今後検討を続けてまいります。

○小島委員 どうぞよろしくお願いいたします。

○澤委員長 今回のルールが本当によいのかどうか、改めて学務課長から機会をみて説明していただいて、何かよい方法があるのか検討していきたいと思えます。

○綱川委員 国際学級に申し込めるハードルはすごく高く、二重国籍でなく外国籍のみでないといけないという条件があります。学区外、特に隣接以外の方と一緒にすることは改善すべきところだと思います。

○澤委員長 では、その辺は、また改めてきちんと議論したいと思えます。

それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

## 2 港区青少年委員の退任及び委嘱について

○澤委員長 次に、「港区青少年委員の退任及び委嘱について」生涯学習推進課長、説明をお願いします。

○生涯学習推進課長 それでは、「港区青少年委員の退任及び委嘱について」ご報告いたします。

資料ナンバー2をご覧ください。

青少年の健全育成を推進するため、区立中学校区ごとに青少年委員を委嘱し、青少年の余暇活動の充実や地域活動の推進、青少年団体の育成の支援などを行っております。任期は2年で、現在は平成26年度から27年度を任期とする委員が活動されています。このたび、平成27年3月31

日付をもって1名が退任し、4月1日付で新たに1名を委嘱しましたので、今回ご報告させていただくものです。

港南地区では深野委員が退任されまして、新たに乾委員が追加されてございます。また、現在推薦依頼中となっております六本木地区の南山小学校区では、候補者の推薦がありましたので委嘱の手続を進めているところです。なお、地区名で「朝日」という名称が残っておりますが、青少年対策地区委員会の名称をとることとしているため、6月の青少年対策地区委員会の総会以降に名称を改める予定でございます。

ご報告は、以上です。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、ご質問ございますか。

青少年委員の皆さんには、お忙しい中、港区の子どもたちの健全育成にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

○永山委員 港南小学校区が2名で、芝浦小学校区が3名ですが、その基準は何でしょうか。

○生涯学習推進課長 区立小学校の通学区域ごとに1名とするというのが原則です。ただし、その地域の状況等に応じて候補者数をその都度定めるとしており、年少人口1,000人で1人という考え方にに基づき、人数を算定させていただいております。

○永山委員 芝浦小学校区も港南小学校区もすごく人口が増えているので、どちらも3名ずつでもいいのかなと思い、お聞きしました。

○澤委員長 それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

### 3 港区スポーツ推進委員の委嘱について

○澤委員長 次に、「港区スポーツ推進委員の委嘱について」生涯学習推進課長、説明をお願いします。

○生涯学習推進課長 それでは、「港区スポーツ推進委員の委嘱について」ご報告いたします。

資料ナンバー3をご覧ください。

地域スポーツの推進を図るため、スポーツ基本法に基づきスポーツ推進委員を委嘱し、地域スポーツ教室の企画・実施、区民へのスポーツ指導や助言などを行っております。任期は2年で、現在は平成26年度から27年度を任期とする委員が活動されています。このたび、平成27年4月1日で新たに1名を委嘱しましたので、今回ご報告させていただくものです。

港南地区では、新たに小田委員が追加されています。こちらにも地区名で「朝日」という名称が残っておりますが、6月の青少年対策地区委員会の総会以降に名称を改める予定でございます。

ご報告は、以上です。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、ご質問ございますか。

(なし)

#### 4 教職員の人事異動について

○澤委員長 次に、「教職員の人事異動について」指導室長、説明をお願いします。

○指導室長 それでは、「教職員の人事異動について」資料ナンバー4に基づき、ご報告させていただきます。

今年度の校長・園長については、転出が小学校6名、中学校4名、幼稚園0名です。転入は小学校4名、中学校5名、幼稚園1名です。数字が異なるのは、幼稚園については三光幼稚園に専任園長を設置している関係です。また、三光小学校と神応小学校が統合され白金の丘小学校になったことによる1名減と、平成26年度は小学校籍の兼任園長だった校長が、白金の丘学園の兼任園長の中学校籍に変わったためです。

副校長・副園長については、転出が小学校10名、中学校1名、幼稚園1名です。転入は小学校8名で、白金の丘小学校統合にかかわる1名の減と、筭小学校で副校長が2名配置から1名が休職中のため配置解消による減数です。中学校についても1名減となっているのは、高陵中学校で副校長2名配置のところ、1名が休職中でしたが復職したので1名減となっています。なお、三光幼稚園の副園長につきましては、先ほど申し上げましたように専任園長と主任職設置のため、副園長が配置されておられません。

教員（小学校）については、転入数が転出数を15名ほど上回っておりますが、先ほど学務課長からの説明のとおり、学級増としての11名、そのほか教職大学院への派遣や教員研究生の派遣、その他いくつか配置解消等の関係で15名の増員となっております。その101名の転入者のうち、20名が新規採用です。

教員（中学校）については、転出が39名、転入が38名で1名減となっておりますが、これは先ほどと同様に学級減によるものです。そのほかの異動数の増減については、期限付任用教員の5名採用や欠員の補充があったことによるものです。中学校についての新規採用は、この時点で10名です。

教員（幼稚園）については、5学級増に加えて三光幼稚園の専任園長設置による主任教諭の配置と、年度途中の退職者の後補充があった関係で8名の増員となっております。派遣と書いてありますのは、教職員研修センターへ指導主事としての派遣が1名と、自治法上の派遣による交流を承認して副園長になりました教員が1名で、2名と記載してあります。

事務・栄養士については、記載のとおりです。事務の1名減は、定数が減ったことによるものです。栄養士の2名減は過員解消と定数減によるものです。

簡単ですが、説明は以上です。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、ご質問ございますか。

○小島委員 例年と大体同じ傾向なのでしょうか。それとも何か特色的なことがありますか。

○指導室長 校長の異動につきまして、小学校は例年何人かの異動がありますので特徴的なことはございません。中学校は昨年度ほぼ動きがありませんでしたが、今年度は退職の校長が2名いたことでだいぶ動きがありました。また白金の丘小・中学校の開校と三光小学校、神応小学校の統合が

あった関係で例年と若干異なっていたと考えます。

小学校の副校長につきましては、3年経過した時点で異動の対象とすることから、例年と大体同じような規模の異動であったかと思えます。

中学校の副校長につきましては、異動がなかったことが昨年度と違う傾向です。

なお、教員については、昨年度よりも新規採用が増えており、このほかにも期限付で採用される場合がこれからもまだ出てまいります。50名を超える形で初任者研修等を実施しなければいけない状況で、増加の傾向が見られます。

以上です。

○小島委員 新規採用の件ですが、幼稚園の新規採用が11名とあります。このところ新規採用の幼稚園の先生が増えてきていますが、11名というのはかなり多いという気がするのですが、どうでしょうか。

○指導室長 おっしゃるとおりでございます。先ほども説明させていただいた5学級増ということに加えて、専任園長の主任職、それから年度途中で退職された教員がいました。昨年度ご報告させていただいたかと思えますが、東京都の正規採用のカードがなくなってしまった関係から、年度途中の補充がかなわなかったため、平成27年度の補充でかなりの数の採用となりました。本当に若い教員が増えて、その分こちらで指導を含めて研修を強化しなければならないため、専門官ともども指導室と一緒に園長・副園長へ働きかけて、指導していかねばと考えております。

○小島委員 ここ数年で新規採用が徐々に増え、現場での先生方の授業力について何か手当てをしなくてはいけないのではないかという議論や話が出ています。今年度新規採用がさらに増えたので、新規採用の先生方の指導力をぜひ指導室でフォローしていただきたいと思えます。よろしく願います。

○綱川委員 幼稚園は、区採用で11人も新規で一遍に入ってくると、やはり年齢の集中でかつてのように団塊の世代がまとまって定年退職するなど困ったということにならないように、これからは定期的に片寄りがないよう採用をしていただきたいと思えます。

新規採用の方が入ってくると、子どもたちや幼稚園の活性化には非常にいいのですが、産休など補充問題が出てきます。その辺をうまく調整していかないと、昨年度のような状態になると困りますので、よろしく願います。

○澤委員長 いずれにしても「教育の港区」ということで、教育委員会が目指す教育ビジョンを学校の教育において実際に実現していただくのは学校現場の先生方です。新規採用や転入された先生方に港区に来てよかったと思ってもらえるよう、教育委員会としてサポートしていきたいです。皆様がそれぞれの立場でご尽力いただければと思えます。

それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

## 5 後援名義等の3月分使用承認について

- 6 生涯学習推進課の3月事業実績について
- 7 生涯学習推進課の各事業別利用状況について
- 8 図書館・郷土資料館の3月行事实績について
- 9 図書館の3月分利用実績について

○澤委員長 次に、「後援名義等の3月分使用承認について」、「生涯学習推進課の3月事業実績について」、「生涯学習推進課の各事業別利用状況について」、「図書館・郷土資料館の3月行事实績について」、「図書館の3月分利用実績について」の定例報告については、配付資料のとおりです。

各案件について、ご質問ございますか。

○小島委員 後援名義等の使用承認については、今回新しく出てきたものなので、ごく簡単で結構ですので、説明をお願いします。

○庶務課長 今回からご報告させていただくものでございます。

根拠となる要綱がありますので、参考資料としてお配りしております。団体が主催する事業に対して、教育委員会が行政機関のお墨つきと言いますか、後押しという意味合いで、それが区民のため、地域のためになるのであれば、ぜひ名義をお使いいただいた上で実施していただきたいという思いで行っているものでございます。

毎年継続して実施している事業もあれば、単発の事業もありさまざまです。今回は3月分ですが、毎月ご覧いただくことで事業の動きも知っていただくことができますのでご報告いたします。よろしくお願ひいたします。

○澤委員長 生涯学習推進課あるいは図書・文化財課で実際にどういう事業を実施しているかは、教育委員会の活動として非常に重要です。特に何か言っておきたいことはありますか。

○生涯学習推進課長 資料ナンバー6です。生涯学習関係で指定管理者の事業として、地球温暖化と異常気象に関する講座、うたごえ喫茶、相手につたわるスピーチ入門講座を実施してございます。

○図書・文化財課長 資料ナンバー8の6ページです。平成27年3月の郷土資料館の実績で、23日に指定文化財候補検討会で、今年度の港区の指定文化財候補の検討を始めてございます。教育委員会へ諮問等をお願いすることとなりますので、よろしくお願ひいたします。

以上でございます。

○澤委員長 それでは、この案件はよろしいでしょうか。

(なし)

○澤委員長 本日予定している案件は全て終了しましたが、庶務課長、その他何かありますか。

○庶務課長 特にございません。

「閉 会」

○澤委員長 分かりました。なければ、これをもちまして閉会といたします。

次回は、臨時会を4月28日火曜日、午後3時から開催予定です。よろしくお願ひいたします。

お疲れさまでした。

(午前10時51分)

会議録署名人

港区教育委員会委員長 澤 孝一郎

港区教育委員会委員 綱 川 智 久